

○17番 今村紗菜君

泉中学校3年、今村紗菜です。私は、あさぎ家周辺の道幅を拡大することについて、質問します。

あさぎ家というケーキ屋さん周辺の道路状況について、御存知でしょうか。あさぎ家は小中学校の通学路として、よく使われます。しかし、あさぎ家の目の前の家の前の塀は死角となり、車が来ているのか、来ていないのか、確認がとても難しいです。それに加え白線も狭いので、とても困っています。気を付けながら歩いていたとしても、車とぶつかりそうになることが多くあります。実際、私の友達も肩に二度、車のサイドミラーがぶつかってけがをしています。

このような状況を解消するために、私は、あさぎ家周辺の道路の道幅を拡大し、白線の部分を広くすることを提案します。

あの道路は住宅が多く、道幅を拡大することは難しいと思います。しかしそうしなければ市民の安全は守られません。SDGsの11番目の目標の住み続けられるまちづくりを達成するためには、道路の道幅を拡大することも大きな一歩になると考えます。私の友達のような人を一人でも減らすためにも、御検討をよろしくお願いします。

まずは、道路計画の概要をお聞きします。

○議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

今村議員の御質問にお答えいたします。あさぎ家さんですね、おいしいケーキさんの前の道路ですね、私もよく存じ上げております。また泉校区なんかでは、例えば南行橋駅のそばで踏切、ここなんかも多くの学生さんが通られて、朝夕、非常に危険だという話も伺っております。

まず、この今おっしゃられました、あさぎ家前の道路なんですけれども、これは市が管理する道路でして、前田・綿打線という名前が付いております。

この道路は、ちょっと古いデータなんですけど、平成27年7月時点での1日の自動車の交通量が5354台、歩行者は217人ということで、本市が管理する市道の中でも交通量が非常に多い路線となっております。また、通学路にも指定されておまして、1日の歩行者のほとんどが小中学生さんですね。御存知のように歩道が設置されておられません。一部できている所がありますけれども、ほとんどが、歩道がまだ設置されておられませんので、歩行者の通行に非常に支障をきたしている状況であります。

また交通事故なんですけど、平成26年から平成30年までの5年間で、人身事故、人にぶつかるなどの事故、これが17件、そして物件事故が13件で、死亡事故は0件となっ

ております。お友達も実際にぶつかられたということで、非常に深刻な状況であると思っております。

このような背景から、本市では行橋市通学路交通安全プログラムといったものを作成しております。このプログラムのもとに関係する機関、警察や学校、場合によっては地域の方々、そういった方々と連携しまして、児童生徒が安全に通学できるよう、通学路の安全確保を図るように努めております。

具体的には、国の補助金なども活用しまして平成27年度から、実際に前田・綿打線、いま工事を進めているところでございますけれども、現状は歩道と車道を合わせまして、幅が5.8メートル程度みたいなんです。これを車道7メートル、そして歩道3.5メートル、計10.5メートル幅の道路にする計画を進めております。道路を広くして歩道を整備するためには、先ほども少し同じようなお話がございましたが、実際には計画を進めていくには、調査費や道路の部分を広げるための土地を購入する用地費、それから建物などを移動してもらう補償費、それから整備をするための工事費、こういった予算が必要になってくるわけでございます。このお金も非常にかかる。プラス時間も非常にかかってくるというのも御理解いただければと思います。以上です。

○議長 龍山咲良君

今村議員。

○17番 今村紗菜君

道路を広げるために、民地の用地補償で時間がかかるのは理解できますが、時間がかかるのであれば優先的に事故の多い箇所から事業を進めるべきだと思います。具体的には、あさぎ家の交差点は、信号機を設置してもらったものの、事故はいまだに起こっています。この交差点改良からするべきではないでしょうか。

○議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

率直な御意見、ありがとうございます。まず前田・綿打線ですが、拡幅するための用地や補償など、そういったものがたくさんかかります。御存知のように道沿いにたくさんの家がありますよね。そういったところで費用も非常にかかりますし、時間もかかることは、先ほども申し上げたとおりでございます。

当初の計画では、泉小学校側から一部改良されている区間があったため、その延長部分から事業を進めておりましたが、国の補助金や市の予算にも限度がありまして、1年間の単年度で用地や補償の業務が完了するのは1、2件となっている状況であります。

泉小学校側からの延長部分から工事を進めていった場合なんです、事故が多いあさぎ

家付近の交差点の改良は、工事の本当に最後のほうの年になるということで、かなりの時間がかかるということが分かっております。そのため、いま御指摘いただきましたけれども、時間がかかるのであれば、やはり優先順位をもう一度しっかりと考え直す必要がありうと考えております。市としても、ここは再検討させていただきました。

具体的には令和元年度より、まず交差点の改良に関わる箇所について、早期に工事に取り組む配慮を行っております。また今年度、交差点改良に関する用地や補償の業務が完了する見込みでありますので、来年度からは、交差点部分の改良工事を始める予定でございます。以上です。

○議長 龍山咲良君

今村議員。

○17番 今村紗菜君

以上で質問を終わります。ありがとうございました。